

みよつほつれんげきよつかんぜおんぼさつふもんぼんだいにじゅうご
妙法蓮華經觀世音菩薩普門品第二十五

せそんみよつそつぐ がこんじゆうもんぴ ぶつしがいんねん みよついかんぜおん
世尊妙相具 我今重問彼 佛子何因縁 名為觀世音

ぐそくみよつそつそん げとうむじんに じよちゆうかんのんぎよつ ぜんのおしよほうしよ
具足妙曹尊 偈答無盡意 汝聽觀音行 善応諸方所

ぐぜいじんによかい りやつつふしぎ じたせんのくぶつ ほつだいじようじようがん
弘誓深如海 歴劫不思議 侍多千億佛 発大清淨願

がいによりやくせつ もんみよつきゆっけんしん しんねんふくうか のうめつしようく
我為汝略説 聞名及見身 心念不空過 能滅諸有苦

けしごうがいい すいらくだいかきよう ねんぴかんのんりき かきようへんじよつち
假使興害意 推落大火坑 念彼觀音力 火坑变成池

わくひよつるこかい りゆつじしよきなん ねんぴかんのんりき はろうふのうもつ
或漂流巨海 龍魚諸鬼難 念彼觀音力 波浪不能没

わくさいしゆみぶ いにんしよすいだ ねんぴかんのんりき によにちこくうじゆう
或在須弥峯 為人所推墮 念彼觀音力 如日虚空住

わくひあくにんちく だらくこんごうせん ねんぴかんのんりき ぶのうそんいちもつ
或被惡人逐 墮落金剛山 念彼觀音力 不能損一毛

わくちおんぞくじよつ かくしゆつうかがい ねんぴかんのんりき げんそくきじしん
或值怨賊繞 各執刀加害 念彼觀音力 咸即起慈心

わくそつおうなんく りんぎよつよくじゆじゆう ねんぴかんのんりき とうじんだんだんね
或遭王難苦 臨刑欲寿終 念彼觀音力 刀尋段段壞

或囚禁枷鎖わくしゅうきんかさ 手足被柱械しゅそくひちゆうかい 念彼觀音力ねんぴかんのんりき 釈然得解脱しゃくねんとくげだつ

呪詛諸毒藥じゆそしよどくやく 所欲害身者しよよくがいしんじや 念彼觀音力ねんぴかんのんりき 還著於本人げんじやくおほんにん

或遇惡羅刹わくぐつあくらすせつ 毒龍諸鬼等どくりゆうしよきとう 念彼觀音力ねんぴかんのんりき 時悉不敢害じしつぷかながい

若惡獸圍繞にやあくしゆゐういじゆゐう 利牙爪可怖りげそうかふ 念彼觀音力ねんぴかんのんりき 疾走無邊方しつそうむへんぼう

玩蛇及蝮蠍がんじやきゆうふくかつ 氣毒煙火燃けどくえんかねん 念彼觀音力ねんぴかんのんりき 尋聲自回去じんしやうじえこ

雲雷鼓掣電うんらいいくせいでん 降雹濡大雨こうばくじゆだいう 念彼觀音力ねんぴかんのんりき 心時得消散おつじとくしやうさん

衆生被困厄じゆじやうひんげやく 無量苦逼身むりやうくひつしん 觀音妙智力かんのんみやうちりき 能救世間苦のつくせけんく

具足神通力ぐそくじんつうりき 廣修智方便こうしゆうちほうべん 十方諸国土じつぱうしよこくど 無刹不現身むせつぶげんしん

種種諸惡趣じゆじゆしよあくしゆ 地獄鬼畜生じじくきちくじやう 生老病死苦しやうらうびじやうしく 以漸悉令滅いぜんしつりやうめつ

真觀清淨觀しんかんじやうじやうかん 廣大智慧觀こうだいちえかん 悲觀及慈觀ひかんぎゆつじかん 淨願常譚仰じやうがんじやうぜんじやう

無垢清淨光むくしやうじやうかう 慧日破諸闇えにちはしよあん 能伏災風火のうぶくさいふうか 普明照世間ふみやうしやうせけん

悲體戒雷震 慈意妙大雲 濡甘露法雨 滅除煩惱焰

諍訟經官処 怖畏軍陣中 念彼觀音力 衆怨悉退散

妙音觀世音 梵音海潮音 勝彼世間音 是故須常念

念念勿生疑 觀世音淨聖 於苦惱死厄 能為作依怙

具一切功德 慈眼視衆生 福聚海無量 是故忝頂礼

爾時持地菩薩 即從座起 前白佛言 世尊 若有衆生

聞是觀世音菩薩品 自在之業 普門示現 神通力者

当知是人 功德不少 佛說是普門品時 衆中 八萬

四千衆生 皆發無等等 阿耨多羅三藐三菩提心